



東日本大震災から 8 年が経過しました。あの頃の映像をテレビで見るたび、当院の災害対応は大丈夫か、と心配になります。「災害時には訓練以上のことはできない」と言われています。来年度も引き続き活動していきますのでよろしくお願いします。

DMAT 技能維持研修に参加してきました

年度末は訓練が目白押しでした。今年度最後の訓練として技能維持研修が高知で開催され当院からは受講 1、インスト 2 の計 3 名で行ってきました。



日時:平成 31 年 3 月 9 日(土)10 日(日)

場所:近森病院管理棟 3 階(高知市)

受講者:180 人(徳島からは、田岡 1、県中 6、徳大 4、市民 3、ハウエツ 1、鳴門 1、の 16 人)



いつものように講義、実技、シミュレーションといった怒涛の 2 日間でした。



気づいたこと／わかったこと／思い出したこと

- ・ EMIS 入力
 - 自院の「病院情報」は常に最新にしておくこと
 - 所属本部の登録は、活動拠点本部に入るまでは「参集拠点」、以後は「活動拠点本部」。どこの指揮下で動いているかを意識する。
- ・ 病院支援
 - 病院到着時は、目で見たり／耳で聞いた情報などを確認しながら、病院 DMAT と接触。「みなさん怪我をしていませんか、無事でしたか」などいたわる発言を。
- ・ 避難所活動
 - 災害時のアンバランスは、医療だけではなく、保健や福祉も。
 - 災害による死亡は、直接死＋間接死
 - 避難所支援は、市町村(職員)支援
 - ◇ 保健師を含む市町村職員に困りごとを訪ね、寄り添う姿勢が大切
 - DMAT が行う避難所アセスメント
 - ◇ 緊急医療が必要な住民・患者の有無
 - ◇ 慢性疾患患者への対応・処方などの必要性
 - ◇ 常設救護所や巡回診療の必要性
 - ◇ 緊急を要する生活環境支援(水、食料、トイレ、暖房など)の必要性避難所アセスメントシートの記入、EMIS への反映
 - 避難所日報、J-SPEED も重要

日本災害医学会で発表してきました

毎年年度末に開催される上記学会ですが、今回はじめて当院から看護師が参加、発表してきました。

第 24 回日本災害医学会総会・学術集会

日時:平成 31 年 3 月 18 日(月)～20 日(水)

場所:米子コンベンションセンター

当院からの発表:一般演題ポスター24「避難行動」
HP24-01「大規模地震時医療活動訓練に合わせて行った院内保育所避難訓練」(ポスターは職員食堂に貼ってありますのでご覧ください)

今年度に起こった大阪北部地震、西日本豪雨、東胆振地震に関する話題のほか、2020 オリパラに向けてテロや Mass Gathering についてのセッションも多くありました。また、BCP に対する取り組みについて多くの発表がありました。

知ったこと/気づいたこと/当院へのヒント

- ・ 受援時、必要物資の要求は具体的に
 - ×「水が必要」、○「水が何トン必要」
 - 本部が判断できるように絶えず現場の状況を上にあげる
- ・ 災害時の法律問題
 - 訓練しておかないと裁判で負ける時代
 - 記録を残すこと、プロセスを残すことが重要
- ・ 病院の BCP
 - 時系列で何が起こるか、各部署に出してもらおう
→本部が全体まとめる
 - 最初は火災訓練をブラインドでやるのがいい などなど

以下参加者の□感想です

今回初めて災害医学会に参加しましたが、いろんな病院の災害対策を聞いてすごく参考になったと同時に、いつ来るかわからない災害が相手なだけに、かなり焦りを感じました。アクションカードも、持つ人の知識で初期対応に差が出るようではダメで、職員一人一人の知識を向上させて病院全体の災害対応力を上げる必要があると思いました。手術室でもアクションカードの作成や術中患者の避難先の設定をしていきたいと思います。今回学会参加させていただき、ありがとうございました。

業者展示ブースでは、乾電池で動く吸引器、車椅子に取り付けて人力車に改造できるポール、津波対策としてのライフジャケットなど、興味深いものがたくさんありました。今回の学会参加でいただいたたくさんのヒントをもとに、これからも BCP の整備を始め、様々な課題に取り組んでいきます。どうぞよろしくお願ひいたします。

BLS インストコースを開催します

災害対策委員会が中心となって開催しています「BLS(一次救命処置)講習会」ですが、指導内容や指導方法について日頃の疑問点などアップデートすることを目的として、以下の日時で勉強会を開催します。

日時:平成 30 年 3 月 30 日(土)18 時から 1 時間程度

場所:2階多目的ホール

心肺蘇生の指導に興味のある方どなたでも参加 OK です。どうぞご参加下さい。

